※令和４年度以降入学生用

学校番号	405

令和８年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅡ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し分析することで興味・関心を高め運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通じて運動する・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

a. 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、その技能を身につけるようにする。（知識及び技能等）
b. 生涯を通してスポーツの振興発展に関わることが出来る資質や能力を育てる。（思考力・判断力・表現力等）
c. 安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。（学びに向かう人間性等）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識を活用し、技能向上につなげる。自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。運動の技能や名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方について具体的な方法を理解している。スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している	運動を継続したり体力や技能向上をするための計画を考えることが出来る。学習で得た成果を自ら発展させ実生活に生かせる。記録や技能向上に挑戦する。運動の合理的な実践を通じて種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身につける。仲間と協力して各種目を楽しむ。	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる公正・協力・責任・参画などの態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	集団行動	・集団行動 基本の動作の習得 集団演技の習得	a:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ｃ:体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。	・観察（取組状況） ・実技テスト	・ルールを理解し、お互いに相手を尊重した態度で運動に取り組めている ・観察(取組状況)	・意欲的に運動に取り組んでいる ・観察(取組状況)
	テニス・バレーボール	・個人的スキルの習熟 ストローク、ボレー、サービス、スマッシュ ・集団スキルの習熟 形式練習 ゲーム ・個人的スキルの習熟 アタック、レシーブ、サーブ等 ・集団スキルの習熟 三段攻撃の意識化 ゲーム	a：テニスでは，正確なサービス、およびスマッシュ、ラリーが続くこと。ラケットでボールを自在に操れるようになること。 バレーボールでは、正確なサーブ、レシーブ、アンダーハンドパスおよびオーバーハンドパスの習得。三段攻撃の有効を把握し、実行すること。 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるよう、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている	・観察（取組状況） ・実技テスト	・内容を正しく理解し、安全面への配慮に対する理解ができる ・観察(取組状況)	・安全面に対する理解ができる ・観察(取組状況)

※令和４年度以降入学生用

２学期	フィールドホッケー	・個人的スキルの習熟 パス、ドリブル、シュート等 ・集団スキルの習熟 ボールポゼッション、ゾーンディフェンス ・ゲーム ・個人的スキルの習熟 パス、ドリブル、シュートリバウンド等 ・集団スキルの習熟 スクリーンプレー、ゾーンディフェンス、マンツーマンディフェンス等 ・ゲーム	a: フィールドホッケーでは，正確なボールコントロール、シュートの精度や強さがあること。 高いドリブルスキル、シュートの習熟を目指す。 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。勝敗を冷静に受け止め、よい演技を讃えようとすること。 c：マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。	・観察（取組状況 ・実技テスト ・レポート提出	・ルールを理解し、お互いに相手を尊重した態度で運動に取り組めている ・観察(取組状況)	・安全面に対する理解ができる ・観察(取組状況)
	ラグビー・タグラグビー	・個人的スキルの習熟 スローイングおよびステップ等 ・集団スキルの習熟 パス回し、ポジショニング等 形式練習 ゲーム	a:ラグビー（タグラグビー）ではルールを理解し、スローフォワードやノックオンのない簡易ゲームができること。巧みなステップを使用してディフェンスを交わすことができること。見方が取りやすいパスを投げることができること。 b:オフサイドにならないよう、常にボールと味方の位置を確認し、的確なポジショニングができていること。味方に指示を出し、パスのラインを作ろうとしていること。自己およびチームの課題を解決するための練習を工夫していること。 c：体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。	・観察（取組状況） ・実技テスト ・レポート提出 ・指導案評価 ・討議姿勢評価	・意欲的に運動に取り組んでいる ・ルールを理解し、お互いに相手を尊重した態度で運動に取り組めている ・観察(取組状況)	・安全面、能力差、運動の形態などが充分に考慮されている ・自主的に発言でき、且つ内容を深く理解している ・安全面に対する理解ができる ・他者への客観的な評価ができる ・観察(取組状況)

※令和４年度以降入学生用

3学期	サッカー・バスケットボール	・個人的スキルの習熟 パス、ドリブル、シュート等 ・集団スキルの習熟 ボールポゼッション、ゾーンディフェンス ・ゲーム ・個人的スキルの習熟 パス、ドリブル、シュートリバウンド等 ・集団スキルの習熟 スクリーンプレー、ゾーンディフェンス、マンツーマンディフェンス等 ・ゲーム	a: サッカーでは，リフティングや正確なボールコントロール、シュートの精度や強さがあること。オフサイドトラップを仕掛けるなど高い競技性があること バスケットボールでは、フリースロー、レイアップシュートの習熟をはじめ、高いドリブルスキル、スリーポイントシュートやフェイダウェイシュートの習熟を目指す。 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。勝敗を冷静に受け止め、よい演技を讃えようとすること。 c： 各種目の楽しさや喜びを味わうことができるようにマナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。	・観察（取組状況	・ルールを理解し、お互いに相手を尊重した態度で運動に取り組めている ・観察（取組状況）	・安全面に対する理解ができる ・観察（取組状況）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度